

■ 基盤教育科目

初期導入科目

◎「新入生セミナー」

概要

大学生活を送るうえで必要とされる、自主的かつ自律的な態度および学修の進め方を学ぶことができるように企画された科目である。

達成目標

高校とは、様々な点で異なる大学において有意義な学生生活を送ることができるよう、次に掲げる全学部共通の目標とともに、専門分野に関する基礎的な理解など学部・学科等ごとに定める必要な事項を修得する。

- ・日々の生活や学修における自己管理、時間管理ができるようになる。
- ・大学という場を理解するとともに、学修を進めるうえで必要な知識、技能を身につける。
- ・将来的なキャリア形成を見通しながら自己を認識し、それぞれの専門分野とつながりのある職業について学ぶことで、今後4年間の過ごし方について考え始める。

カリキュラムの方針

新入生を大学における学修全体へと導く役割を担う必修科目である。以下の構成をガイドラインとしながらも、その具体的な内容については専攻する学問領域の性質を考慮した学部・学科等ごとに相応しい事柄を、各教員の大学観・学問観を反映させながら教授する。

- ・「知ること」
大学という場および自らが属する学問領域の広がりを知るとともに、生活態度や文献の探し方などについて学ぶ。
- ・「書くこと」
日本語の表現に敏感になること、ノートの取り方、レポートのまとめ方などを修得する。
- ・「話すこと」
プレゼンテーション（他者に対して分かりやすく発表すること）のやり方、ディスカッション（集団での討論）の進め方などを学び、コミュニケーション能力の向上を図る。
- ・「考えること」
科学的・論理的な思考法などを身に付ける。
- ・「キャリアデザイン」
専門分野にかかわる職業・働き方や自己についての理解を深めるとともに、自らのキャリアプランを意識しながら綿密な履修計画を立てる契機とする。